



## 外部との連携 その1

### 常磐大学との連携

常磐大学の学生が進めている「パッチワークキルト・プロジェクト」に協力しています。



#### <製作途中のタペストリー>

約250cm四方の大きさです。ベースのキルトは池田寿美子さん（木もれ日）の多大なる協力で作られています。



<3年生が製作した大きなタコ>  
タペストリーの右下に配置されています。



<2年生が製作した浦島太郎とかめ>  
タペストリーの左上部に配置されています。



縫い合わせの作業の様子

#### <感想>

・「パッチワーク・キルトプロジェクト」と聞いて、何をやるプロジェクトなのだろうと興味湧きました。大学生や教授のお話を聞くまではこんなに壮大なものができるのだとは思いませんでした。話す言語は違えどこの大きなタペストリーを見て、作品に込めた思いがたくさんの人に伝わるといいなと思います。



#### <パッチワーク・キルトプロジェクトとは>

常磐大学 小関一也教授のゼミの一環です。

フィリピンなど海外をフィールドに、地域と世界をつなぐ持続可能な開発目標に取り組んでいっています。

私たちが協力しているのは、「誰かがそばにいる」を作品のメインテーマに、南の海で共存する魚たちをパッチワークで表現する作品製作です。

常磐大学のゼミ学生の声掛けで7つの団体が集まり、製作に参加しています。9月と11月に水戸三高の被服室でパッチワークを縫い合わせる作業を行いました。12月にも活動を行います。